

## 審査講評 第13回 日本水大賞委員会 審査部会長 虫明功臣

日本水大賞は、今回第13回を迎えました。審査部会長として、今回の「日本水大賞」への応募状況ならびに審査・選考の経過についてご報告申し上げます。審査部会は、日本水大賞委員会のもとに各賞の候補を選考するために設けられており、水防災・水資源・水環境・水文化等の分野の専門家や学識経験者18名で構成されています。今回から、従来の「奨励賞」を「未来開拓賞」と改名しました。審査は、「日本水大賞」募集要項に記された「対象の範囲」および「審査基準」を基に進められました。各賞の候補となった活動は、日本水大賞委員会に報告され、審議の結果、「大賞（グランプリ）」をはじめとする日本水大賞の各賞が決定されました。

### 第13回 日本水大賞 受賞活動集

○経済産業大臣賞：群馬県 磯村産業株式会社及び磯村豊水機工株式会社

「利根川源流域における100年にわたる水源涵養の森づくり」

総合水処理プラント・機器メーカーと林業に携わるグループ企業が、高崎市内の水道水源である「水源涵養保安林」に指定された会社所有の1,100haの山林を、時にはグループ企業全体で費用を負担しながら、明治以降100年にわたる適切な森林施業と管理を継続し、健全な水源林の維持を図ってこられたことに、敬意を表します。この間に、台風による風水害などの自然災害や第二次大戦後や高度経済成長期の人手不足などによって、植林や保育が困難な時期が多々あったと思われませんが、森林を単なる木材生産の場とせず、洪水や濁水や土砂流出を軽減し良質な水質を育む森林の公益的な役割を重視して、県内随一と言われる美林を造り上げています。

良質で安全な水供給システムの提供と浄水場の運転管理というこの企業グループの業務と関連を持ちながら、100年にわたる会社所有水源涵養保安林に対する地道な保全活動を続けてこられたことは、企業の採算を超えた立派な社会貢献活動として高く評価されます。

## 受賞者へお祝いの言葉

### 祝 辞

第13回日本水大賞経済産業大臣賞を受賞された磯村産業株式会社及び磯村豊水機工株式会社の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

このたびの受賞は、皆様が明治43年の創業以来100年の長きにわたり、自社所有の1100haにも及ぶ広大な水源涵養保安林の保全活動を通じて、治水、治山や良質な水道原水の安定供給等、公益的に大きな役割を果たされてきたことが高く評価されたものであります。

群馬県では本年3月に、「群馬県環境基本計画2011-2015」を策定し、水源涵養機能等の高い森林づくり、森林環境の保全を県が取り組むべき重点施策として位置づけています。

こうした中、浄水処理や植林事業という企業活動を通じて、健全な水環境、水資源の確保に努めてこられた皆様が、今回栄えある賞を受けられましたことは、本県にとりまして大変心強く、誠に意義深いことであると思います。

結びに、今回受賞された磯村産業株式会社及び磯村豊水機工株式会社の皆様の長年にわたるご努力に心から敬意を表しますとともに、今後も末永く水源涵養保安林の保全活動にご尽力いただきますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。